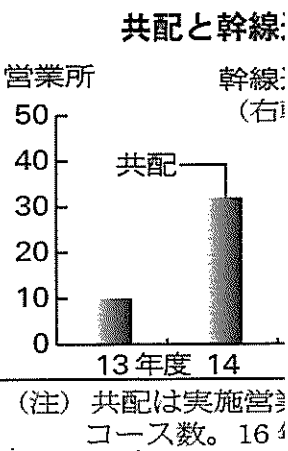


工 共同



セイノート

大していく「セイノート」の河村大経営企画室長) 考えた。

幹線輸送の共同運行は15年4月から開始。当初2コース(延べ1161台)でスタート。現在、44コース(1267台)で行っており

研修生66人受け入れ

アジア 事業発展に貢献

山九は21日、アジア大洋州3カ国から66人の研修生と発表された。日本国際協力

センター(JICE)、山野幸子理事長の要請で、JENESYS2016の参加者を受け入れ、物流業務に関する研修を実施した。

「JENESYS2016」は日本政府が推進している国際交流事業で、①新たな国際市場の開拓支援並びにグローバル・バリュー

佐川急便 ■ 駐車違反 従業員含む

佐川急便 荒木秀夫社長、京都市南区)の男性ドライバーが勤務中の駐車違反の身代わりで知人を出頭させた事件で、警視庁は22日、東京営業所(東京都江東区)の従業員を含む6人を逮捕した。営業所のトラックで

物流業界で初受賞

七十七 東北経済を支え

白石倉庫



白石倉庫(大宰栄一社長、表理事)のビジネス大賞に選ばれた。物流業界では初の受賞となった。

同財団は七十七銀行創立120周年を記念し、宮城県産業振興と経済の発展に資することを目的に19

98年に設立。毎年、県内産業・経済の発展に寄与した企業に奨励金を贈呈する「七十七ビジネス大賞」と、新規事業活動を志す起業家などに助成金を贈呈する「七十七ニュービジネス助成金」の支援事業を行っている。

19回目の今回は大賞に10

件、助成金には36件の応募があった。審査の結果、ビジネス大賞(奨励金50万円)に白石倉庫と住宅関連事業のタカカツホールディングス(高橋勝典社長、大崎市)の2社を選んだ。

白石倉庫は長年にわたり地域経済を支え、現在は県内に11拠点の物流ネットワークを構築。経済のグローバル化に対応するべく、農産物の保

管事業では「農産品デジタル色彩選別」や「放射線測定」など先端技術を導入。災害に強い梱包資材「BO Xフレコン」の開発や防災無線ネットワークの相互支援体制の整備にも取り組んでいる。

18日の贈呈式で、鎌田代表理事(七十七銀行会長)が各社の代表者に表彰状と目標を手渡した後、大宰社長は「1900年の創業以来、

東北、宮城の物流インフラを整備し、地域の物流を支えてきた。今後も東北の経済を支える企業として頑張る」と述べた。(黒田秀男)

「JENESYS2016」は日本政府が推進している国際交流事業で、①新たな国際市場の開拓支援並びにグローバル・バリュー

反を行が不可取得し、築地署で、9が自宅が家宅容疑逮捕された。身代わり

物流

最前線

「いわば『非常識』な取り組みが、こうして認められたのは大変光栄。我が社はメーカーのポジションにいる。これからもその役割を果たしていきたい」。大塚倉庫(大阪市港区)の浜長一彦社長(48)は、日本ロジスティクスシステム協会(JILS、速達信博会長)の2016年度「ロジスティクス大賞」の受賞を喜びとともに、物流課題の解決に引き続き取り組むことを誓う。(沢田頼嗣)

「この受賞は物流業界に『変える』が評価され、前例の無い2年連続の大賞受賞となった。

なお、15年度は「共通プラットフォームの進化」をテーマとして、トラック回転配送を実現してトラック不足を解消する仕組みを構築。提出した論文「物流のあたりまえを壊す」で、独自の自動配車システム「e-伝票」の仕組みを写真とネット予約で労働時間

向上を支援するのが主眼だった。これに対し、今回は「ID運輸」をベースに長時間労働の抜本的な是正を図ったのが際立った。

その施策の一つが「ネット予約」で、荷下ろしに要する待ち時間を解消。併せて、スマートフォンを使い

にもかかわらず、どうして納品時にも検品する必要があるのだろうか。従来の常識を疑うことが発想の出発点となった。事業環境が大きく

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

大塚倉庫

供給網の不合理にメス

ロジ大賞 2年連続受賞

「この受賞は物流業界に『変える』が評価され、前例の無い2年連続の大賞受賞となった。

なお、15年度は「共通プラットフォームの進化」をテーマとして、トラック回転配送を実現してトラック不足を解消する仕組みを構築。提出した論文「物流のあたりまえを壊す」で、独自の自動配車システム「e-伝票」の仕組みを写真とネット予約で労働時間

納品伝票と受領印を電子化する「e-伝票」の採用に加え、納めた商品を写真撮影することで入庫時の検品作業を廃止した。

「出庫時に検品している

変化していることを踏まえ、医薬品卸への粘り強い説得に努めた末、ドライバーの平均滞留時間は50分から15分へと短縮。ドライバー不足は物流業界の共通課題であることから、待機時間

「大塚倉庫は大塚グループの物流部の顔も持っている。商品の安定供給は何より重要な使命」。配送サービスを協力会社に全面的に委託しているが故、「ドライバー不足で苦境に立たされていく方針だ。

サポートするのは当然。自

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

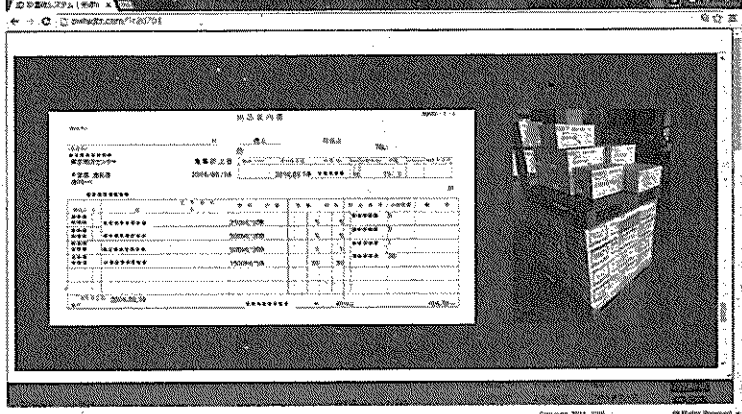
「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与

「e-伝票」も待機時間の減少に寄与



SGホールディングス・グローバル(SGHG、佐野友紀社長、シンガポール)は22日、ベトナムの大手不動産大手と

SGHGが物流支援

ベトナム パートナリシップ構築

不動産大手と

長期的なパートナーシップ構築に向け基本合意した、Vinグループは、本業の不動産事業と並行し、スーパー、コンビニエンスストアをはじめとする小売店をベトナム全土に構え、事業展開している。事業を拡大する中で出てきた物流面の課題を解決するため、SGHGとSG佐川ベトナム(島崎順二社長、ホーチミン市)が物流面で様々なサポートを行っていく。

今回の基本合意により、SG佐川ベトナムはVinグループに対し、小売関連事業での物流センター運営、配送システムの構築、大型店舗での館内物流、荷物取り次ぎなどSGホールディングスグループが日本で展開している物流ノウハウを提供する方針。

なお、今後の同国での拠点展開については、Vinグループが保有する不動産資産の活用と併せて協議していく。(田中信也)

新名神高速・新御堂筋直結
大阪府の企業用地 (箕面森町)

新名神(仮称)箕面ICへ約3分
*新名神高速道路は平成29年度末全線開通を目標に建設中。

物流拠点に最適な立地環境!

好評分譲中!

①物件情報

街区番号	区画番号	地積(平坦地面積)	販売価格
Ⅲ-④	①	11,500m ² (8,008m ²)	5億3,130万円
Ⅲ-④	⑧	28,193(21,711m ²)	15億 879万円